

# 一般質問通告書

【第82回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様  
 多可町議会議員 山口邦政



受領日	番号
平成29年12月4日 午前・午後 9時00分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 「子育てするなら多可町」の具体的取り組みは	町長
① 多可町の子育て支援策についての現状を分析ください。 ② 吉田町長の子育て支援の方針・具体策は、アピールポイントは。 ③ 目標設定が必要と思うが、10年先の目標を何処に・何に定め、数値をどう設定するのか。 ④ 国が進め始めている「子育て世代包括支援センター」の取り組みはどうするのか。 ⑤ 厳しい財政の中で、子育て支援を重点的に取り組むための財政措置方策は。	町長
2. 自然を前面に打ち出した町の魅力づくりを	町長
① 町内で川遊びができるスポットは何か所あるのか。 ② 町内で里山整備されているヵ所は何か所あるのか。 ③ 町内のミニ公園の設置個所は何か所か。 ④ 今後自然を前面に打ち出した、川遊びスポットの設置や里山整備、ミニ公園整備を進めて行く考えはないか。	
3.	

## 質 問 の 内 容

### 1. 「子育てするなら多可町」の具体的な取り組みは

厳しい選挙戦を勝ち抜いてこられた吉田町長の誕生に心からお祝い申し上げます。

さて、選挙戦を通じて自身のリーフレットや新聞のインタビューを通じ『「子育てするなら多可町」と言われる町を目指します。』と言い続けられてきました。この部分についてはかなりの思い入れがあると感じています。

子育て支援につきましたは近隣自治体と切磋琢磨しながら数々の施策が実施されてきました。子育て支援策につきましたは、多可町が新しい施策を打ち出すとすぐに近隣自治体が追随し、また逆のケースで近隣自治体が打ち出した施策を多可町が取り入れる場面もありました。まさに自治体間競争が行われているのが現状かと思えます。

子育て支援策については何に重点を置くのかを明確にしていく必要があるのではないかと考えます。

支援の方策としては、保育料等の支援、出産に関する支援、医療費等の支援、民間事業者との協働で各種割引制度での支援、住環境での支援、多子世帯の子育て支援金等の金銭での支援等色々な支援の方策があると思えます。

ある団体が「子育てしやすい街アンケート」を取った結果を発表しています。その中で子育てしやすい街に選んだ理由として、子どもが遊べる公園が多くある、平均学力が高い、住民の健康度が高い、文化的な施設が充実しているなどが挙げられていました。

財政的に厳しい中で子育て支援策を打ち出していくには、独創的な施策が必要かと思えます。そして何かを重点的に行っていく、町内外にアピールしていく必要があるかと思えます。また、長期的な計画に基づき数値目標を定めて目標達成の進行管理をしていくことも重要かと思えます。

従来の子育て支援を振り返り、今後吉田町長は具体的にどのような施策で「子育てするなら多可町」と言われる町を創っていかうと考えておられるのかお考えをお示しいただきたいと思えます。

- ① 多可町の子育て支援策についての現状を分析ください。
- ② 吉田町長の子育て支援の方針・具体策は、アピールポイントを何処に置くのか。
- ③ 目標設定が必要と思うが、10年先の目標を何処に・何に定め、数値をどう

設定するのか。

- ④ 国が進め始めている「子育て世代包括支援センター」の取組みはどうするのか。
- ⑤ 厳しい財政の中で、子育て支援を重点的に取り組むために、どのように財源捻出をしていくのか。

以上、町長の答弁を求めます。

## 2. 自然を前面に打ち出した町の魅力づくりを

多可町は京阪神地方から車で1時間半の距離でPRポスターでも「ちょっとベンリな田舎。多可町です」のキャッチフレーズとしてアピールしています。

自然を活用した取り組みも数多く実施され、最近では健康保養地事業でのウェルネスウォーキングが始まり好評を得ております。

これらの事業も大事ですが、身構えて自然に入っていくのではなく、もっと身近に自然を感じてもらう手法を取り入れていく必要もあるのではないのでしょうか。

昔あって今ないもの、今必要とされているものがいくつかあります。

例えば川辺、里山、子どもが遊べる簡易公園などがあげられます。

川辺ですが「道の駅杉原紙の里」前の川辺にはシーズンの土日になると多くの子供連れで賑わっています。昔は各集落の中に一か所以上このように川遊びができるスポットが存在していました。

里山につきましても集落内に数か所は簡単に行ける里山が存在していました。

簡易な遊具がそろった公園も各集落内にありましたが、遊具管理の問題があり撤去された集落がほとんどとなり、子どもたちの声も聞こえなくなっています。

先日もある子育て世代のお母さんからこんな声を聞きました。「子どもを遊ばせたいが遊ばせる場所がない。私たちが子どもの頃には集落の運動場にブランコとか滑り台があったのに。子どもを遊ばせる場所がほしい」

1点目子育て支援策の1つとしても、このように子どもたちが遊べる場所の確保も重要な支援ポイントではないかと考えます。

今一度こうした自然の中での川遊びスポット、里山、ミニ公園の復活を考え、自然を前面に打ち出した町の魅力づくりが必要ではないのでしょうか。

- ① 町内で川遊びができるスポットは何か所あるのか。
- ② 町内で里山整備されているカ所は何か所あるのか。
- ③ 町内のミニ公園の設置個所は何か所か。
- ④ 今後自然を前面に打ち出した、川遊びスポットの設置や里山整備、ミニ公園整備を進めて行く考えはないか。

以上、町長の答弁を求めます。